

みんな考えてまい!

蒲郡のまちづくり

～都市計画マスタープラン～

三谷は活気があるから、満足度は高いんじゃないの？

すなメリーは、まつりのイメージからそう思ったんじゃない。だがのん、まちづくりアンケートでは、まちの賑わいや活気に7割の人が不満を持つとって、市内7地域



で最も満足度が低いんじゃない。旧市街地の空洞化が進んでるせいかなのん。JRの駅があつて鉄道は利用しやすく、通勤や通学に便利じゃと思つとる人が7割おるが、バスについちゃ、路線や本数が減つてきたからか、半分以上の人が不満を持つとるぞん。

そうなんだ。満足度が高いと思つただけだな。その地域ごとにいろんな悩みがあるんじゃないよ。じゃがな、買物や通院の便利さ、小中学校の規模と場所、水道や下水の整備じゃ、65%とたくさんの人が満足しとるぞん。

じゃあ、蒲郡の山側は？満足度が低いのかなつて思つてただけだ。…。なんの、蒲郡の山側全体での満足度は、市内で2



学芸員 小林龍二

巨大水族館にない大切なもの

最近の水族館は、大水槽や海中トンネルで巨大なサメやエイが悠々と泳いでいるイメージがあります。しかし、残念ながら皆さんの一番身近にある竹島水族館は、こじん

まりとした水族館です。

そんな水族館で働く私は、当初、大きな水槽にせん望の思いを抱いていました。近代的で最先端の展示水槽に悔し涙をこらえて見学することも正直いつてありません。

しかし、近ごろはこのような思いを考え直すようになり

ました。というのも、小さな水族館だからできることがあると分かったからです。

「あの魚どうしちゃったの」、「あいつ前より太ったねえ」、「この間は寝ていたみたいだけれど、今日はすごく愛想が良かった」などと、私たちが飼育員に親しみを込めて、お客さんが頻繁に話しかけてくれます。また、私たち飼育員も、「面白いでしょう」と気軽に話ができるので、皆さんが、楽しみながら生き物

への興味を持つ「かけはし」となることができます。

これは大きな水族館では決してできないことです。小さな水槽で魚たちを1匹ずつ丁寧に観ることが出来る竹島水族館ならではの特徵です。

竹島水族館は、大水槽も海中トンネルもありません。しかし、職員とお客さんが1つになり、生き物を育てているアットホームで身近な水族館なのです。